

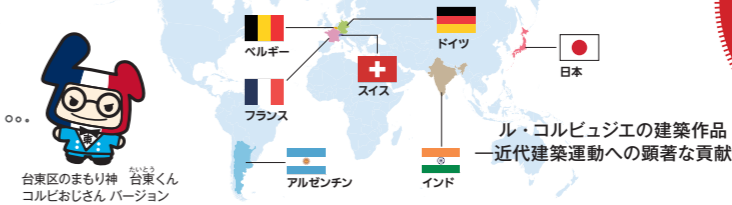
国立西洋美術館が世界文化遺産に登録決定!

今回登録されたのは7カ国に所在する17資産

“近代建築”の巨匠の一人であるル・コルビュジエが設計した建築作品のうち、フランスを中心に日本など7カ国に所在する計17資産(うち1件は国立西洋美術館)を一括して国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産(文化遺産)に登録しようという“挑戦”が、ついに実を結びました。

7カ国が共同で推薦していた「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」の世界遺産一覧表(リスト)への記載が正式に決定されました。複数の資産が大陸をまたがって世界遺産に登録されたのはこれが初めてです。またこれで、東京で初の世界文化遺産が誕生したことになります。

※世界遺産とは…
人類の宝物として大切に守っていく必要のある、貴重な文化財や自然のことで、建物や遺跡、城、寺院などの「文化遺産」、地形や風景、希少動植物の生息地などの「自然遺産」、その両方の価値をもつ「複合遺産」の3種類があります。



ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—

《国立西洋美術館》

戦後フランス政府から寄贈返還された松方コレクション※を母体として、今では“芸術の森 上野”と呼ばれる一面に、昭和34(1959)年に開館しました。印象派など19世紀～20世紀前半の絵画や彫刻が中心の松方コレクションをはじめ、ルノワール、モネ、ピカソ、ロダンなどの優れた西洋美術を鑑賞でき、なかでも18世紀以前の西洋の画家たちの作品を観られる美術館としては国内有数の存在です。

随所に“近代建築”の特徴

国立西洋美術館は、戦後の日仏の文化交流の起点となった歴史的建造物です。同時に“近代建築”の巨匠の一人とたたえられたル・コルビュジエが設計した本館は東アジアで唯一の建築作品でもあり、随所にル・コルビュジエの建築的特徴が見取れます。たとえば、「モデュロール」。これは彼が発案した人体寸法と黄金比を利用した特別な定規(基本寸法)で、本館に採用されています。

このほか、ピロティやスロープ、屋上庭園、自然光を利用した照明設計(現在は蛍光灯を使用)、螺旋状の回廊、そして展示品の増加に応じて渦が大きくなるように建物も増床できる平面計画など、美術館本館はル・コルビュジエによる「無限発展(成長)美術館」構想が具現化した美術館ともいえるのです。

国立西洋美術館の建物としての見どころ(CHECK POINT)をいくつかピックアップしてみました。ル・コルビュジエの設計によるさまざまな工夫がなされた建築も一つの“作品”として、鑑賞してみたいかと思いますが、

※松方コレクションとは…
実業家政治家の松方幸次郎(1865-1950)が、大正5(1916)年から約10年の間に欧州各地で収集した美術品群。パリに残された約400点の作品は、第二次世界大戦後、仏政府に押収されました。昭和28(1953)年、そのうちの大半が日本に「寄贈」という形で返還されることとなり、その際「西洋美術の要諦が日本人に伝わるような美術館の建設」が条件とされたため、国立西洋美術館が建設されることとなりました。



(写真提供:国立西洋美術館)

ピロティ

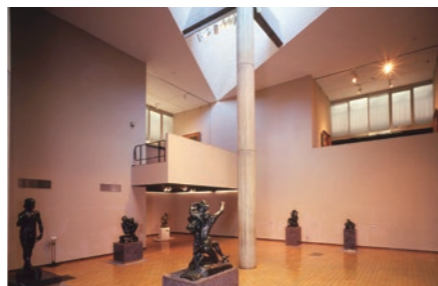
CHECK POINT 1



美術館の入り口は、ピロティ*によって雨や強い日差しを避けることができ、ゆとりのある空間となっています。
*ピロティとは、建物を支える柱だけで構成される屋外空間による建築形式のこと。

19世紀ホール

CHECK POINT 2



ロダン彫刻が展示されている本館1階中央部分。屋上の採光窓まで吹き抜けとなっているこの「19世紀ホール」はコルビュジエ自身の命名です。この19世紀ホールを出発し、四角いホールの周囲を螺旋状にぐるりと回るように展示室を歩いていきます。

スロープ(斜路)

CHECK POINT 3



「19世紀ホール」と2階とを結ぶ通路を階段ではなく、緩い斜路(スロープ)としたことで、空間の変化を楽しみながら、上の階に移動することができます。

天井の高さ

CHECK POINT 4



2階展示室の天井は、高い部分と低い部分が組み合わされています。歩くにつれて空間の広がりや変化を楽しむことができます。ちなみに、低い天井はモデュロールで決められた226cm、高い天井はその2倍にバルコニーの床の厚さを加えた寸法となっています。

回遊空間

CHECK POINT 5



2階の展示室は、角を曲るとまた同じような景色が現れるという、回遊性を備えた不思議な空間です。たとえば、19世紀ホールからスロープを上がって2階に入り込んだ来館者は、途切れることなく次々に現れる展示空間を回遊するように歩くことができます。

【国立西洋美術館】 所 上野公園 7-7 ☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 🕒 9:30~17:30 (金曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで
🗓 月曜日(祝日または振替休日となる場合は開館)、翌日の火曜日が休館)・年末年始 ※臨時に開館・休館することがあります。詳しくはお電話で

ル・コルビュジエってどんな人?

ル・コルビュジエ(Le Corbusier, 1887-1965)は、パリを拠点に世界で活躍した建築家・都市計画家です。建築のみならず、絵画、彫刻、家具などの制作も手がけ、小住宅から国際連合本部ビルの原案まで幅広い創作活動を展開しました。ちなみに、「ル・コルビュジエ」とは文筆活動もよくした彼のペンネームで、本名は「シャルル・エドゥアール・ジャンヌレ」といいます。

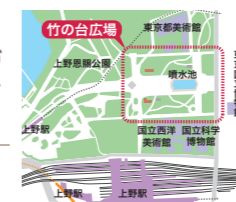
美術館の個性を楽しむ「ミュージアムショップ」

エントランスから入った正面奥に「ミュージアムショップ」があります。書籍のエリアには、美術書や「ル・コルビュジエ」関連の書籍が豊富にあり、企画展示にあわせた関連書籍も取りそろえています。
また、国立西洋美術館所蔵のモネの「睡蓮」やロダンの「考える人」などを使ったタオルやネクタイ、ポトルストッパーなど、ここでしか入手できないオリジナルグッズが多数あります。
見ているだけでも楽しいミュージアムショップは、観覧券なしでお入りいただけます。ぜひお立ち寄りください。



10月29日(土)・30日(日) 国立西洋美術館世界遺産登録記念イベント(仮)

国立西洋美術館が東京で初めての「世界文化遺産」に登録されたことを記念して、上野恩賜公園竹の台広場(噴水前広場)で、世界遺産にちなんだイベントを開催します。



〈お問合せ〉台東区役所 世界遺産登録推進室 ☎ 03-5246-1193 (平日 8:30~17:00)

使う人・つくる人、共に幸せになる手仕事がいっぱい!
マジマン雑貨ガナン
DaNang
プラカゴ専門店
住所:台東区谷中5-1-9
TEL/FAX:03-3828-1288
営業時間:13:00~17:00
定休日:火・水曜日(不定休)
http://www.ky-danang.jp